（様式－3）

再 発 防 止 対 策 書

関東支部

発生日時	令和6年8月5日（月曜日）15 時00分頃							天候	晴	
災害の程度	死亡 1 名		負傷 － 名		職種：伐採作業員		年令41才		経験年数0年7ヶ月	
工事の種類	調査測量	伐採	運搬	仮設	基礎	組立	足場	架線	撤去	その他
災害の種類	墜落・転落	転倒	物の飛来・落下		崩壊・倒壊	はさまれ・巻き込まれ		切れ・こすれ	感電	その他
原因	作業準備の不良	作業方法の不良	工具防具の不良	電気工作物の不良	作業者の過失	共同作業者の過失	調査中			
設備										
件名	送電線接近樹木伐採作業中，高圧配電線により感電									

災害の状況	・実施責任者，実施責任者代務者，作業班長，作業員4名の計7名で現地に到着後，送電線接近樹木の伐採作業を開始
	・被災者と共同作業者の2名が高所作業車に乗車し伐採作業を実施
	・共同作業者がチェーンソーで枝払いを行い，被災者が伐採した枝を高所作業車に回収していた。
	・被災者が回収した枝を地上に下ろすために配電線付近で高所作業車のブームを旋回した際に感電したと想定
	[被災程度]死亡
	[装　　備]防護面付安全帽，作業服（上下），空調服，革手袋，スパイク足袋
原因及び対策	1. 災害発生の主原因
	・準拠法令などで定められた安全な離隔距離を超え作業を実施した。
	・送電線と配電線の近接箇所における作業に必要な法令などを理解していなかった。
	・送電線と配電線の近接箇所における作業計画書などに正しい法令，対策を反映する仕組みになっていなかった。
	2. 再発防止対策
	・教育資料を用いて，配電線近接作業危険ポイント教育，関係法令補完教育を実施する。
	・安全離隔距離（2.0m）を確保できずに作業を実施する必要がある場合は，発注者と協議する。

（注）1.　「人身災害報告要領」に基づいて記載するものとし、「工事の種類」「災害の種類」「原因」については該当項目に〇印を付ける。

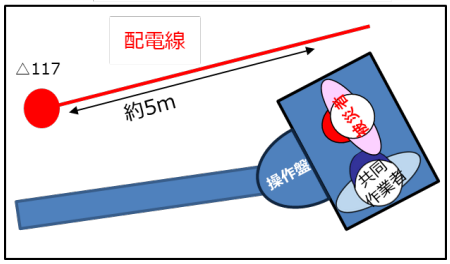
2.　災害状況の説明と共になるべく図面を添付すること（様式－2）。特に感電の場合は支持物、電線の離隔距離その他寸法を記入する。

（様式－2）

再発防止対　　災害概要図

災害発生位置

高所作業車バケット配置拡大図



■役割■

実施責任者（代務）：現場施工管理・安全管理

作業班長：高所作業車での枝切り作業

作業者Ａ：地上作業（伐採木整理）

作業員Ｂ：地上作業（伐採木整理）

被災者：高所作業車のオペレーター、伐採木受取

災害発生状況

- 送電線へ接近している樹木を伐採するには、高所作業車のバケットを伐採箇所へ接近させる必要があるが、伐採箇所下部の配電線接触樹木が支障となるため、支障となる枝の伐採を実施（道路側への張り出しにより上空が見えない状態）　※図1
- 伐採した枝を高所作業車バケット内に集積していたが、バケット内が伐採木でいっぱいになったため、道路上へ伐採樹木を下ろそうと**ブームを配電線側に旋回した際に配電線により感電したと想定**　※図2

図1　配電線側の樹木伐採

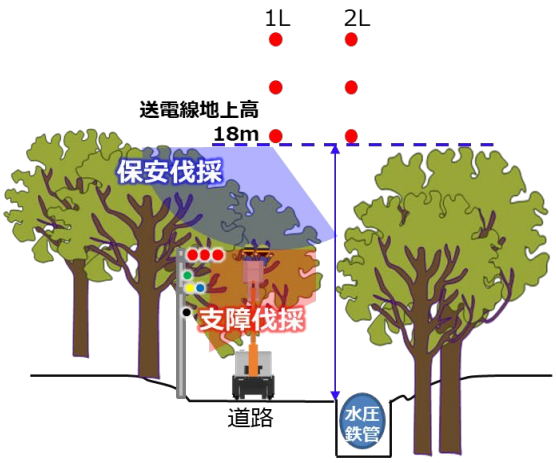
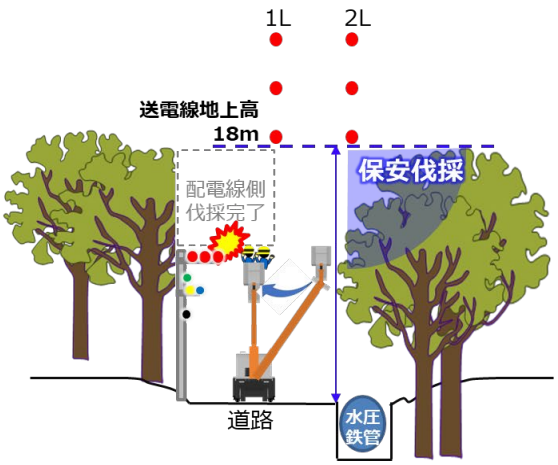



図2　水路側の樹木伐採